


輝く空の限界へ

今日も虫は空を飛ぶ
昨日の自分を超すために。






僕らは、寂しくないよ

いつも、一緒にじゃれ合って過ごしてるよ。

いつ別れるか、分からないけど…

その時まで、ず～っと一緒だよ。



ここいこうぜ。

なめがたの自然と湖といったらここ天王崎。
なめがたはいいぞ～

たくさん聞こえていた
今年はどうだろうか。

～環境問題に耳を傾けよう～

北浦公民館の周りを歩いていると、
道端にゴミが落ちていた。

去年は虫の音が聞こえていたが、秋には虫達の合唱が
響き渡るのだろうか。

霞ヶ浦の豊富な水資源

日本で三番目に大きい霞ヶ浦。
霞ヶ浦は、人々にとっての豊富な水資源であるとともに、人々の趣味の場所としても利用されている。
花火を見たり、時間がある時に立ち寄ったりと、とても身近なところだ。

自由

Daze

CoTerrace

コテラスから見える、
奥まで広がる自由なくも、さえぎる物がないようだ。
雲はそれほど大きく自由なんだ。

Free



恐ろしいのは
イツシュンだけ？

虫媒花にとって虫は子孫を残すための大切な生き物だ。
しかし、この日はとても風が強く、花が揺れ虫を避けているように見えた。
虫が自分の頭にのったらどう思う？

ああ、あの空を、飛びたい。

飛んでみたいなー

夢のある水筒

叶わぬ夢を追いかける。

この水筒にも命があるように見えた。

きっと何か、やどったのだろうか…。

セミの季節、やっと殻から抜け
出せた

この日はとても風が強く洗濯も飛ばされる
くらいの風だった。そんな風にゆれなが
ら、ずっとこの木にくっついていて。抜け殻
なのに命があるかのように感じた。



霞ヶ浦の音

霞ヶ浦は湖なのに、ザザザーという波の音。その音につられ、霞ヶ浦を眺める。
そしてそこには、いつもとは違う霞ヶ浦があった。



「HELLO！」



自転車のそばに落ちていた蝉の抜け殻。
近くでは蝉が鳴いている
きつとこの中で君は鳴いているのだろう……

いつも、
見てるよ、照らしてるよ。

夕方の暗い雲の間から差し込む光。
きっと、これは八年前に亡くなってしまった
おじいちゃんからのメッセージ。
みんなを応援しているのかな？
私はそう信じてる。そして、ありがとう。

釣りが好きな幼なじみ

自由時間。
自分で釣った魚を食べたく頑張ってる
だからいつものように隣で応援してるね
でも、網で魚をすくってた自分

日本の遺産霞ヶ浦
ここに天王崎にあり

日本2番のデカさ 一つの行方遺産

行方は、自然にたくさん囲まれている。

道は続いている
どこまでも

どこまでも続いている
人が歩いていくような
永遠と続く道、それが
「人生」という名の道だった

霞ヶ浦と分厚い雲

霞ヶ浦にかかる分厚い雲 今にも雨が降りそうだ

夜空を舞う 銀色の花

夜空を舞う花火は鮮やかに描く
とてもきれいな花火でした
また見に行きたいなあ…



ねえ。

そこの君。
ちよつとだけ。
ゆっくりに
みたらいい？

8月8日。コテラスで撮った一枚。
テーブルの上に置いてあった植物。
何か言いたいと思っていたのかもしれない。
疲れていたらいやしてあげるよ

新しい世界

中学生になってから

いつも通る通学路の雑草を

低い目線で見てみた。

そこには新しい世界。

小さいものが大きく見える世界が

広がっていた。

力強い花

それが私の宝物



広い草むらに一輪だけ咲いている白い花を見つけた

その花はとても力強く、そして私を勇気づけてくれた

青空の宝石

八月七日、
北浦公民館の玄関前にて。
ふと空を見上げると、
太陽が
煌びやかに光り輝いていて、
まるで宝石のようだった。

緑色のマカロン



坂の上から撮ったこの写真は、駐車場が緑にはさまれていて、まるで緑色のマカロンのようになっていた。この写真の田舎の風景というイメージと、マカロンの可愛いイメージは、まったく違う。その二つのイメージが、結びついた写真になった。

やろこを感づけるユキ...

2016/08/05

ある日おとずれた、ワタシと猫との出会い。
楽しかった時、悲しかった時いつもいてくれた
ありがとう友よ
そしていつまでもよろしく



夏、、、やっと僕も一人前。

2016年の夏。
今もずっと成長し続けている、
自分の夢に向かって羽ばたいていこう！

ああ、もっと積極的にいかんと……

八月六日、池で仲良く遊ぶ金魚たちに、
一人ぼっちのカエルと一緒に遊びたくて
見ている。

声かけてみなよ。

大海の 荒波

平成二十八年八月八日、
霞ヶ浦のレイクサイドにて。
その荒波は、
湖だけでも海にも勝る

泳げるけれど、泳がない

昔はたくさん泳いでた、今は水がよごれて泳がない
泳ぎたくても泳げない、それが現実、悲しい現実
昔は、たくさん泳げたのになあ

2016 8 8


忍法・かくれみのじゅっ！！

くさにとけこむカエルにんぽう。

・ある草むらで撮った1枚。ぼくたちが写真をとろうとしてもずっと動かずとってほしいのかとおもうほど、じっとしていた。
このかえるは、もしかしたら、めだちたがりやだったかもしれない。。。

あしたも**天気**になあれ。。。

体育館横の草原に一輪だけ咲いていた花。
元気な声がきこえて嬉しそうにゆれている。
「あしたも**天気**になあれ。。。」

A close-up, profile view of a dog's face, showing its eye, ear, and snout. The dog has light brown and white fur. The background is dark and out of focus.

たからもの。

動物も大切な家族である。
その小さいのちは私のたからもの。